

会誌「情報処理」55巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2013年11月5日（火）（必着）

結果通知 2013年11月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、**読者の開封率は格段に上がります。**
 また、**カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能**となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望月
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約16円！

※ 価格はすべて税込

基本価格 367,500円

対象：全会員 20,000通配布

（正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員）

大学や
 共催事業は
 さらに割引も！

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
 （基本価格の40% Off！） **220,500円**

情報処理学会主催・共催事業*
 （基本価格の80% Off！） **73,500円**

* 情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「情報と哲学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■哲学の流れと情報の関係が、とても分かりすくまとめてあって、よかった。(匿名希望)

特集「DoS 攻撃」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■専門的な内容の部分もあったものの、具体的な攻撃手法と、現状考えられる対策が、コンパクトにまとめられている点がよかった。(匿名希望)

■「マルウェア」特集のときと同様に、興味を持って読みはじめたが、「マルウェア」と比べて分かりにくく早い段階で読むことを止めた。1日後学会からのメールにて「私がモニタである」ことが分かり、読みなおした。その結果興味のある記事が多数あることが分かった。特集の構成では、分かりやすい記事を最初のほうに配置するのが重要だと思う。(匿名希望)

■関係すると思われる方々が多く寄稿されていて、異なる観点からの記事が集められており、参考になった。(匿名希望)

■DoS 攻撃という実戦的なテーマの記事は読みごたえがありました。サイバー攻撃、サイバー戦争は今後もなくならないテーマだと思いますので、定期的に取り上げていただければと思います。(匿名希望)

■DoS 攻撃の手法と具体的な事例が解説されていて、どの記事も大変興味深く読むことができました。これまで断片的にしか知らなかった DoS 攻撃の知識を深めることができました。(匿名希望)

「2.1 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (1) ～DDoS は身内からもやってくる～」

■身近にあり得ると感じた。(渡邊 志)

「2.2 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (2) ～Antinny による ACCS サイトへの DDoS 攻撃～」

■存在はある程度知っていたが、内容についてはほぼまったく

知らなかった DDoS 攻撃の実際を知ることができた。(大島聡史)

■技術的なことはまったく分からなかったが、大変なことが起こっているということは理解できた。(匿名希望)

「2.3 DoS/DDoS 攻撃観察日記 (3) ～ボットネット PushDo による SSL 接続攻撃を振り返って～」

■興味があった部分だったので、もう少しまとめの部分をしっかりと書いてほしかった。(匿名希望)

「3.1 DoS/DDoS 攻撃対策 (1) ～ISP における DDoS 対策の現状と課題～」

■DoS 攻撃に類似する攻撃が 2 ちゃんねるに対しても行われたが、このような攻撃が行われていたと想像でき理解が深まった。また、ネットワークがらみのセキュリティに関する業務に携わっていたこともあり、本記事を読んで当時の苦労を思い出した。(匿名希望)

■具体的な事例の紹介が盛り込まれていた。(匿名希望)

「3.2 DoS/DDoS 攻撃対策 (2) ～高度化する DDoS 攻撃と対策 サイトの視点から～」

■DDoS 攻撃の内容が図示されており、理解を深めることができた。(匿名希望)

「コラム：DoS 攻撃に対する警察の取り組み」

■具体的な対策が見えにくい内容だった。(匿名希望)

コラム「IT 好き放題：インパクトある研究」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■同感である。(匿名希望)

■先の見えない世界、何となく皆が向かう当たり前のトレンドの中の閉塞感。研究者も、技術者も、とりわけ情報技術分野では、What と How を同時に追い求めるマインドが、新しい局面を開くために重要と感じています。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：コラム：プログラミングの本質は、閑暇における自由人の高尚な享楽」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■開発現場についてあまりにも無知で非現実的。大学人の限界か。(匿名希望)

■プログラムの「美しさ」を追求する教育にもっと市民権を。(匿名希望)

解説「計算下界の解明 (後編)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■テーマは良かったが難解だった。もう少し平易であると良かった。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■今後取り上げてほしいテーマ：品質保証。D-Case 等の学会での動向のほか、産業界での取り組み、IPA の活動などを取り上げてほしい。(匿名希望)

■なるべく広範なトピックを取り上げて、毎月どこかしらに興味の持てる記事を掲載してほしい。(平井辰典)

■画像解析系の特集が読んでみたいです。(匿名希望)

■会誌の内容に理解しやすいものと、しにくいもののギャップがあるように感じた(知識を持っている・いないにより、とっつきやすい・にくだけかもしれない)。(匿名希望)

■コンピュータの歴史として、先人たちの歴史や苦労話は面白い。今後の参考になる。(匿名希望)

■今、社内で文書検索のヒット率を上げるテーマがあり、グーグルやヤフーはどのようにヒット率を上げているのか、非常に興味がある。データマイニング特集を組んでほしい。(匿名希望)

■医療についての特集を組んでほしい。(匿名希望)

■エンタテインメント系の技術に関する記事を取り上げていただけると嬉しいです。(匿名希望)

■センサ情報とビッグデータについて取り上げてほしい。(匿名希望)

■Sun Microsystems は公共組織の開発にも貢献し、新鮮なセンスで経営していて、OS の無料化や知識の普及戦略が企業として面白かったのですが、Oracle に買収されてしまいました。買収の経緯を「今だから話せる」というような形で伺えれば、いわゆる「良い会社」がなぜ潰れたのか納得できるので、機会がありましたら特集してください。(竹澤充子)

■広範にわたる情報処理の各分野における研究テーマが、我々の実生活とどのように結びついているか、といった視点も記事に具体的に取り入れると、さらに魅力ある会誌内容が期待できる。(匿名希望)

■ゲーム(将棋、囲碁、TV ゲームなどなんでも)のAIについて取り上げてほしいです。(匿名希望)

■統計的機械学習についてのテーマ(今回の深層学習のような)を扱ってほしい。(大上雅史)

■情報学に必要な数学基礎知識などを取り上げてほしい。(永田正樹)

■色々な意味でトレードオフが生じる事業で、ご苦労が絶えないと思いますが、今後も期待しております。(渡邊 志)

【本欄担当 海老澤竜、川本淳平/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

< URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	デジタルプラクティス「ビッグデータ活用を支えるOSS」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0502s.html	8月5日(月)		
	論文誌「情報システムの新展開」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-IS.html	8月12日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html	9月6日(金)		
	論文誌「地域貢献・復興」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-N.html	10月21日(月)		
	論文誌「新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-M.html	11月29日(金)		
7月17日(水)～	第181回ソフトウェア工学研究発表会	5月24日(金)	当日のみ	和歌山県立情報交流 センター ビッグ・ユー
7月18日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se181.html			
7月18日(木)～	第62回コンピュータセキュリティ・	5月14日(火)	当日のみ	札幌コンベンション センター
7月19日(金)	第6回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec62spt6.html			
7月18日(木)～	第81回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	5月17日(金)	当日のみ	日本女子大学 (目白キャンパス)
7月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm81.html			
7月18日(木)～	第212回自然言語処理研究発表会	6月5日(水)	当日のみ	はこだて未来大学
7月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl212.html			
7月22日(月)～	第94回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps94.html	3月21日(木)	当日のみ	モンテカルロリゾート (ラスベガス)
7月22日(月)～	第157回データベースシステム・	5月27日(月)	当日のみ	北海道大学
7月23日(火)	第111回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs157ifat111.html			
7月25日(木)～	第90回デジタルドキュメント研究発表会	6月17日(月)	当日のみ	岩手県立大学アイーナ キャンパス学習室1
7月26日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd90.html			
7月25日(木)～	第97回音声言語情報処理研究発表会	5月10日(金)	当日のみ	宮城県刈田郡蔵王町 遠刈田温泉
7月27日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp97.html			
7月28日(日)	2013年度関西支部セミナー「小中学生のための情報科学教室」 http://kansai.ipsj.or.jp/2013schoolchildren/		7月21日(日) 定員になり次第 当日可	近畿大学 本部キャンパス38号館 国立情報学研究所
7月29日(月)～	第16回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2013)			
8月1日(木)	http://cvim.ipsj.or.jp/miru2013/index.php			
7月30日(火)	連続セミナー 2013 第2回「G空間情報処理におけるビッグデータとその応用」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
7月31日(水)	第39回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi39.html	5月27日(月)	当日のみ	青山学院大学
7月31日(水)～	2013年並列/分散 協調処理に関する『北九州』サマー・ワークショップ (SWoPP北九州2013) http://www.hpcc.jp/swopp/	5月10日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
8月2日(金)				
8月1日(木)	第22回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot22.html	5月26日(日)	当日のみ	武蔵大学 江古田キャンパス
8月3日(土)	第99回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch99.html	6月10日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス
8月9日(金)～	第29回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	6月26日(水)	当日のみ	筑波大学 春日キャンパス
8月10日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec29.html			
8月21日(水)～	DAシンポジウム2013	5月24日(金)	当日のみ	下呂温泉 水明館
8月22日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2013.html			
8月22日(木)～	平成25年度電気関係学会東北支部連合大会	6月14日(金)	当日のみ	会津大学
8月23日(金)	http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/			
8月31日(土)～	第100回音楽情報科学研究発表会	6月24日(月)	当日のみ	東京大学
9月2日(月)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html			
9月2日(月)	第54回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its54.html	6月26日(水)	当日のみ	電気学会
9月2日(月)～	第188回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	6月18日(火)	当日のみ	鳥取大学
9月3日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim188.html			
9月2日(月)～	第10回ネットワーク生態学シンポジウム	7月1日(月)	定員になり次第	かんぼの宿 有馬
9月3日(火)	http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/12th_webology/index.html			
9月4日(水)～	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム	聴講参加等事前予約		鳥取大学
9月6日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/	7月12日(金)		鳥取キャンパス
9月9日(月)～	第152回グラフィクスとCAD研究発表会	6月21日(金)	当日のみ	穂の国とよはし芸術 劇場プラット(豊橋市)
9月10日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg152.html			
9月9日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2013 (SES2013)	5月10日(金)	当日のみ	東洋大学 白山キャンパス
9月11日(水)	https://sites.google.com/site/sesjp2013/			
9月11日(水)～	第156回マルチメディア通信と分散処理・	7月8日(月)	当日のみ	金沢工業大学
9月13日(金)	第89回グループウェアとネットワークサービス・ 第61回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps156gn89eip61.html			扇が丘キャンパス
9月12日(木)～	第82回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月5日(金)	当日のみ	早稲田大学
9月13日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm82.html			
9月19日(木)	連続セミナー 2013 第3回「ビッグデータ時代のセキュリティ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月21日(土)	平成25年度電気関係学会四国支部連合大会 http://www.sjciee.org/	7月28日(日)		徳島大学工学部 共通講義棟
9月21日(土)～ 9月22日(日)	平成25年度電気関係学会北陸支部連合大会 http://jhes2013.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/	7月31日(水)		金沢大学 自然科学本館・大講義棟
9月24日(火)～ 9月25日(水)	平成25年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2013/	7月12日(金)		静岡大学 浜松キャンパス
9月24日(火)～ 9月25日(水)	平成25年度(第66回)電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月16日(火)		熊本大学 黒髪南地区
9月25日(水)	2013年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2013/index.html	6月21日(金)		大阪大学 中之島センター
9月26日(木)～ 9月27日(金)	第95回数値モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps95.html	7月26日(金)	当日のみ	熊本県立大学
9月27日(金)	第23回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot23.html	8月2日(金)	当日のみ	電気通信大学
9月30日(月)～ 10月1日(火)	第141回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc141.html	7月19日(金)	当日のみ	沖縄産業支援センター
10月3日(木)	連続セミナー 2013 第4回「ライフログとビッグデータ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
10月12日(土)～ 10月13日(日)	第121回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce121.html	8月22日(木)	当日のみ	中京大学附属中京高校
10月16日(水)～ 10月18日(金)	組込みシステムシンポジウム (ESS2013) http://www.sigemb.jp/ESS/2013/	6月14日(金)		国立オリンピック 記念青少年センター
10月19日(土)	平成25年度(第64回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/	8月2日(金)		岡山大学 津島キャンパス
11月8日(金)～ 11月10日(日)	第18回ゲームプログラミングワークショップ2013 (GPW-13) http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2013/			箱根セミナーハウス
11月14日(木)	連続セミナー 2013 第5回「産官学民融合で実現へ！ スマートシティをデザインする」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
12月4日(水)～ 12月5日(木)	第25回コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2013) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/			芝浦工業大学 豊洲キャンパス
12月12日(木)～ 12月14日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2013」 http://jinmoncom.jp/sympo2013/		当日可	京都大学 百周年時計台記念館
12月16日(月)	連続セミナー 2013 第6回「クラウドソーシングとソーシャルメディア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]調整中
12月20日(金)～ 12月22日(日)	第101回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html		当日のみ	九州大学
2014年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyuu/happyou/index.html#syorui	2月28日(金)		
3月11日(火)～ 3月13日(木)	第76回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/			東京電機大学 東京千住キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月24日 サイトライセンスサービスの提供について (ご案内)
- 6月20日 (緊急) 情報規格調査会 Web サイトの改ざんについて
- 6月20日 PRMS の著者向けインタフェースを変更しました
- 6月19日 「イノベーション創出委員会」への意見
- 6月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.7)
- 6月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.54 No.7)
- 6月10日 「世界最先端 IT 国家創造」宣言 (案) に対する意見
- 6月06日 会長就任にあたって
- 6月06日 デジタルプラクティス「ビッグデータ活用を支える OSS」特集論文募集
- 6月05日 「パーソナルデータの利用・流通に関する研究会 報告書 (案)」への意見
- 6月05日 「サイバーセキュリティ戦略 (案)」への意見
- 6月04日 特選論文の開始について
- 6月03日 情報産業のグローバル化に対応した上級資格制度
- 5月27日 PRMS の査読報告作成支援フォームを公開いたしました

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

* 原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門

- 募集人員** テニュアトラック特任准教授 1名 (全学一括公募で6名を採用予定のため, 結果として当該専攻での採用がない可能性もあり得ます)
- 専門分野** (1)セキュアードシステム, (2)クラウドコンピューティング, (3)データベース, (4)ソフトウェア工学
- 教育担当** 大学院工学府情報工学専攻および工学部情報工学科における上記専門分野に関連した科目の担当および研究指導
- 応募資格** 博士の学位を有すること, 博士の学位取得後10年以内であること, 40歳未満であること
* 文部科学省平成25年度「テニュアトラック普及・定着事業」補助申請のため (年数と年齢は応募締切日現在)
- 着任時期** 2013年10月1日以降, できるだけ早い時期
- 提出書類** (1)応募申請書 (履歴書, 研究業績リストなど, 様式ダウンロードのこと), (2)主要論文別刷 (5編以内), (3)これまでの研究成果の概要 (和文および英文, A4用紙各2枚以内), (4)本学における研究計画の概要 (和文および英文, A4用紙各2枚以内), (5)教育に関する抱負 (A4用紙1枚以内), (6)可能であれば推薦書 (A4用紙, 書式自由)
* 応募書類一式は下記宛に簡易書留で郵送すると同時に, 1つのPDFファイルとして下記E-mailアドレスまでE-mailで提出のこと
- 応募締切** 2013年7月25日16時 (必着) (E-mailと郵送物の両方)
- 送付先** 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学戦略企画課研究国際企画係 E-mail: t-track@cc.tuat.ac.jp
- 照会先** 先端情報科学部門 教授 藤田欣也 E-mail: kfujiita@cc.tuat.ac.jp
- その他** 詳細については, 必ずWebページ (<http://www.tuat.ac.jp/~senryaku/koubo/tt/ttkoubo.html>) (PDF版URL: <http://www.tuat.ac.jp/~senryaku/koubo/tt/ttkoubo.pdf>) を参照してください

■自然科学研究機構国立天文台

- 募集人員** 特定契約職員 (専門研究職員) 1名
- 募集職種** ALMA プロジェクトのデータ解析関連ソフトウェア開発・改良担当
- 所属** チリ観測所 (三鷹)
- 着任時期** 2013年10月1日
- 提出書類** (1)履歴書, (2)計算機に関するこれまでの経験を含め, 抱負をまとめた文章 (A4用紙2枚程度), (3)迅速に連絡がとれる連絡先 (E-mail アドレス, 電話番号)
- 応募締切** 2013年8月5日17時 (必着)
- 送付先** 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台チリ観測所 長谷川哲夫
「特定契約職員 (データ解析関連ソフトウェア開発) 応募」と明記
- 照会先** チリ観測所 小杉城治 E-mail: george.kosugi@NO!!SPAM!!nao.ac.jp (NO!!SPAM!! を削除)
* 問合せの電子メールのヘッダは ""tokutei keiyaku inquiry"" としてください
- その他** 仕事内容, 応募資格などの詳細な募集情報は, 国立天文台およびチリ観測所の採用情報にありますので必ずご覧ください
<http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>, <http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/recruit/index.html>
また, ALMA プロジェクトについては下記を参照してください
<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/>, <http://www.almaobservatory.org/>

■鳥取大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 情報エレクトロニクス専攻知能情報工学講座
 専門分野 情報工学に関する分野、特に知識情報処理分野（機械学習、知覚情報処理、大規模コンテンツ分析、データマイニング、確率的情報処理など）
 担当科目 大学院：情報エレクトロニクス専攻で開設する専門科目、学部：知能情報工学科で開設する専門科目および数学、物理等の基礎科目
 応募資格 1)博士の学位を有すること、2)上記の専門分野に関し、十分な研究業績を有し、教育、研究および専攻運営にも熱意があること
 着任時期 2014年1月1日（予定）
 提出書類 ①履歴書（様式1）、②教育歴（様式2）、③研究歴（様式3）、④その他の活動歴（様式4）、⑤着任後の抱負（様式5）、⑥研究業績リスト（様式6-1）、⑦所見を伺える方の照会先（2名）または推薦状（2通）（様式7）、⑧主要査読付き学術論文別刷（5編程度、コピー可）
 応募締切 2013年8月30日（必着）
 送付先／照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻知能情報工学コース長 村田真樹 E-mail: murata@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5548 Fax(0857)31-0879
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便 *原則として提出書類は返却しませんのでご了承ください
 その他 公募の詳細については、必ずWebページ (<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)を参照ください

■兵庫県立大学工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 電気系工学専攻電子情報工学部門
 専門分野 フォールトトレランス・ソフトコンピューティングの医療工学分野への応用
 担当科目 情報論理学、画像メディア工学、データベースなどソフトウェア関連科目
 着任時期 2014年4月1日
 応募締切 2013年8月30日（必着）
 送付先 〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学 経営部総務課気付 大学院工学研究科長 山崎 徹
 「電子情報工学部門教授応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 照会先 電子情報工学部門 教授 佐藤邦弘 E-mail: koubo157@eng.u-hyogo.ac.jp Tel(079)267-4991（ダイヤルイン）
 その他 提出書類など詳細はWebページ (http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/info/guide/fs_accept.html)を参照ください

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員 教授・准教授および助教 1名
 専門分野 インターネット応用、ソフトウェア工学などのソフトウェア
 担当科目 オブジェクト指向開発論、ウェブアプリケーション、オペレーティングシステム、実験等の基礎科目の中から数科目
 応募資格 (1)博士もしくは博士に相当する学位を有する方、(2)教育・研究、および学生の指導に熱意を持って当たられる方
 着任時期 2014年4月1日（予定）
 提出書類 (1)履歴書1部（本学所定書式）、(2)教育研究業績書1部（本学所定書式）ただし、業績書については査読付き学術誌原著論文、それ以外の査読付き論文（レター、国際会議、シンポジウムなど）、その他の論文（研究会報告、口頭発表、研究機関紀要、総説、解説論文など）、著書・編著、外部資金獲得状況に分けて記載してください、(3)主要論文、著書の別刷（5編以内、コピー可）、(4)今までの教育・研究の概要、本学着任後の教育・研究に対する抱負（それぞれ1500字程度、ただし、後者については教育と研究それぞれの抱負を分けて記載してください）
 ※提出書類リストを添付してください ※ (1)履歴書および(2)教育研究業績書の本学所定書式はWebページ (<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)からダウンロードしてください
 応募締切 2013年8月31日（消印有効）
 送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス 理学部長室 理学部長 日野晶也
 「情報科学科教員応募書類」と明記し書留 *原則として応募書類は返却いたしません、返却を希望される方はその旨明記してください
 照会先 情報科学科 主任 永松礼夫 E-mail: lnag@kanagawa-u.ac.jp Tel(0463)59-4111 (ext. 2235)
 その他 待遇：本学規程による（詳細は人事課045-481-5661にお問合せください）
 選考方法：(1)書類審査、(2)必要な場合は面談の機会を設ける
 採否通知：2014年1月中旬頃までに採否の通知をする予定です
 その他：日本国内に在住の外国籍の方は「外国人登録証明書、在留カード、または特別永住者証明書」の写しを添付してください
 博士の学位取得者は学位授与（博士）証明書またはその写しの提出を求めることがあります
 選考の過程で健康診断書の提出を求めることがあります

■近畿大学理工学部情報学科

募集人員 講師 1名
 専門分野 情報メディア
 担当科目 情報分野の基礎科目・実習科目他
 応募資格 博士(またはPh.D)の学位を有する方
 着任時期 2014年4月1日
 提出書類 1)履歴書, 2)研究業績集計表, 3)研究業績書, 4)これまでの研究概要, 5)主要論文別刷, 6)本学における今後の教育・研究に対する抱負, 7)推薦書(自薦も可), または当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先, 8)連絡先(電話番号, E-mailアドレス)
 応募締切 2013年8月31日(必着)
 送付先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部情報学科 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 理工学部情報学科 学科長 山本博史 E-mail: yama@info.kindai.ac.jp Tel(06)6721-2332 (ext. 5407) Fax(06)6727-2024

■愛媛大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名(任期5年:テニュア・トラック制度)
 所属 電子情報工学専攻情報工学講座
 専門分野 計算機システム. 具体的には、「大規模集積回路やシステムLSIのための設計方法, シミュレーション, 最適化方法, 検証, テスト」, 「組み込みシステム」, 「ディペンダブルコンピューティング」等の研究分野
 担当科目 上記専門科目に関連する講義および学生実験など
 応募資格 教育と研究に熱意と能力があり, 博士あるいはPh.Dの学位を有するか, 着任時までに取得見込みの方
 着任時期 2014年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績, (3)教育業績, (4)その他の業績, (5)今後の活動の抱負, (6)これまでに獲得した研究助成一覧, (7)主要な研究業績の別刷(3編以内), (8)応募者について所見を求め得る方3名以内の氏名・役職・連絡先, そのうち1名の推薦書
 ※上記提出書類(1)～(5)については, 愛媛大学工学部Webページ(<http://www.eng.ehime-u.ac.jp/>)に掲載してある[教員公募: 応募書類]の様式に従い作成してください(Webページの見本を参考にしてください)
 ※上記提出書類(1)～(6)については郵送とは別に電子ファイル(Word)を下記E-mailアドレスへ提出してください
 ※一次審査(書類審査)通過者に対しては, すべての研究業績の別刷のご提出を求めます
 応募締切 2013年9月30日(消印有効)
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 高橋 寛
 E-mail: takahashi@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9957 Fax(089)927-9973
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 その他 (1)面接審査:一次審査(書類審査)通過者に対して実施. なお, 面接の際の旅費などの支給はありません
 (2)男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し, 教員の選考を行います
 (3)個人情報保護のため, 応募書類に記載された個人情報は, 選考および採用以外の目的には使用しません. また, 応募の秘密は厳守します. なお, 選考結果を愛媛大学Webページで公表する際, 採用候補者の氏名については公表させていただきます
 愛媛大学採用情報: <http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>

■京都大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 電気工学専攻システム基礎論講座(システム創成論分野)
 専門分野 システム工学とその関連分野に関する深い学識と優れた研究業績を有し, 数学・物理的な深い考察に基づいて異なる研究領域を横断し, 工学の中での新たな学問分野を切り拓く能力を有する方
 担当科目 数学・システム系科目および実験・演習系科目等
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 採用決定後なるべく早い時期
 応募締切 2013年10月14日(消印有効)
 照会先 大学院工学研究科電気工学専攻 専攻長 萩原朋道 E-mail: chair-denki@kuee.kyoto-u.ac.jp Tel(075)383-2250
 その他 詳細はWebページ(<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/profile/acceptance/other/>)を参照ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

From WEB Society to FAB Society
Hiroya TANAKA (Keio Univ.)

Special Features

The Design of Daily Life : Scientific Approach of Living Functioning Synthesiology

770 0. Foreword

Yoshifumi NISHIDA and Yoshio MATSUMOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

772 1. The Design of Daily Life : Living Functioning Synthesis Using Database on Living Structure

Yoshifumi NISHIDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

779 2. Suggestions for 'Functioning Engineering' from the 'Trinity Approach' in Clinical Medicine

Satoshi UEDA (Japanese Society for Rehabilitation of Persons with Disabilities)

782 3. Strategy for the Establishment of "Functioning Engineering" - Based on the "Functioning Model" of the ICF as the Common Language for the Understanding of Human Functioning

Yayoi OKAWA (National Center for Geriatrics and Gerontology)

787 4. Structure and Classification of Functioning Understanding and Analysis Based on Big Data

Yoichi MOTOMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

791 5. Development of Everyday Life Database Based on Canonicalized Representation for Understanding Everyday Life and Its Application

Koji KITAMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology), Hiroki TAI and Ayako OOUCHI (Misawa Homes Co., Ltd.)

799 6. Development of Assistive Robots Based on ICF

Yoshio MATSUMOTO, Hideyuki TANAKA, Masahiro YOSHIKAWA and Yujin WAKITA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

805 7. Social Participation Support Based on ICF

Tomomasa SATO (The Univ. of Tokyo)

Reports : The 2012 IPSJ Best Paper Award

811 Foreword

Shojiro NISHIO (Osaka Univ.)

812 Designing Safe and Fun Playground Equipment in Practice

Mikiko OONO (INOUE), Koji KITAMURA and Yoshifumi NISHIDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

813 From Content-based Analysis to Interaction-based Analysis

Tatsuya KAWAHARA (Kyoto Univ.)

814 Towards the Age of Big Data

Shingo TANAKA (Toshiba Corp.)

815 Application of Virtualization Technology for Computer Security

Masaya SATO and Toshihiro YAMAUCHI (Okayama Univ.)

816 University Research and Real-World Application Development

Motoki YANO

817 Adversity Nurtures a Genuine Technology - Development of Surgical Simulator -

Masato OGATA (Mitsubishi Precision Co., Ltd.)

818 Toward the Construction of Organized Multihomed Networks with Minimal Administration

Yong JIN (National Institute of Information and Communications Technology), Nariyoshi YAMAI, Kiyohiko OKAYAMA (Okayama Univ.) and Motonori NAKAMURA (National Institute of

Informatics)

819 A Small Discovery in the Whirlwind of Progress

Graham NEUBIG (Nara Institute of Science and Technology)

820 Pheromone Communication on Swarm Robotics

Ryusuke FUJISAWA (Hachinohe Institute of Technology)

821 Toward Recommendation Service Based on Large Graphs

Yasuhiro FUJIWARA (NTT Software Innovation Center)

822 Considering Power Consumption Characteristics of Multicore CPUs for Energy Efficient Virtual CPU Scheduling

Tetsuya YOSHIDA (Prezio IP Firm)

823 Days of Our Lives

Hiroshi SASAKI (Kyushu Univ.)

824 Challenges for Entire-shape Measurement Systems Using Pattern Projection

Ryo FURUKAWA, Ryusuke SAGAWA, Hiroshi KAWASAKI, Kazuhiro SAKASHITA, Yasushi YAGI and Naoki ASADA (Hiroshima City Univ.)

Reports : The 2012 IPSJ Nagao Special Researcher Award

825 Foreword

Shojiro NISHIO (Osaka Univ.)

826 Toward Application of Wearable / Ubiquitous Computing Research to Industry

Kazushige OUCHI (Toshiba Corp.)

827 One's Own Way

Kazuyuki SHUDO (Tokyo Institute of Technology)

828 How to See the World

Hajime NAGAHARA (Kyushu Univ.)

Reports : The 2012 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award

829 Foreword

Katsumi TERANAKA (NTT Software Corp.)

830 Security Evaluation of Pairing-Based Cryptography

Tsuyoshi TAKAGI, Takuya HAYASHI (Kyushu Univ.), Naoyuki SHINOHARA (National Institute of Information and Communications Technology) and Takeshi SHIMOYAMA (Fujitsu Labs. Ltd.)

831 Establishment of a Next-generation Approach to Speech Synthesis Based on Hidden Markov Models

Keiichi TOKUDA (Nagoya Institute of Technology), Tomoki TODA (Nara Institute of Science and Technology), Heiga ZEN (Google), Junichi YAMAGISHI (Univ. of Edinburgh / National Institute of Informatics) and Keiichiro OURA (Nagoya Institute of Technology)

832 Development of Voice Agent Service "Shabette-Concier"

Takeshi YOSHIMURA, Wataru UCHIDA, Shinya IIZUKA, Kosuke TSUJINO (NTT DOCOMO) and Ryuichiro HIGASHINAKA (NTT Media Intelligence Labs.)

833 A New Approach for Problem-Solving with Accumulated Knowledge

Koichi TAKEDA and Hiroshi KANAYAMA (IBM Research - Tokyo)

Airticles

834 Information and Communication Technologies for Minority Groups : Featuring Patients with Rare Disease

Mizuki MORITA (The Univ. of Tokyo / NIBIO) and Eiji ARAMAKI (Kyoto Univ. / JST PRESTO)

"Peta-gogy" for Future

841 MOT Education for Industrial Technology and Innovation

Mitaro NAMIKI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)

- 842 "Find Your Future" and "Milive.jp" : For High School Level IT Education from the Viewpoint of Private Educational Organization
Masashi YAMAMOTO (Kawaijuku Educational Institution)
- 846 Course Content and Implementation of the New Curriculum in the Information Studies
Tsutomu OHARA (Tokyo Metropolitan Machida High School)

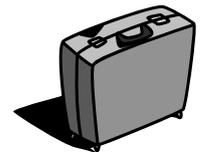
- Senior Column : Messages on Favorite IT
- 850 Challenging Spirit
Osamu MIWA
-
- 851 Book Review



書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

- 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - 会議レポート : 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
- 応募資格
原則として本学会員に限ります。
- 応募の手続き
 - 表題 : 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 評者名 (会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先 (住所、E-mail、Fax など) の記載を忘れずに。
 - 本文 : 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
 - (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」
(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>) を参照してください。
- 原稿の取扱い
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
- 照会／応募先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.54 No.7 (July 2013)

【特集：組込みシステム工学】

- 特集「組込みシステム工学」の編集にあたって 中本幸一
- Flexible and High Performance ASIPs for Pixel Level Image Processing and Two Dimensional Image Processing Hsuanchun Liao 他
- 生体情報圧縮のための差分符号化命令セット・プロセッサの提案 中塚祥子 他
- ITRON 仕様 OS の RMT Processor 向け実装 上田陸平 他
- IEEE1888 通信スタックの組込み向け軽量実装 落合秀也 他
- 優先度逆転を低減する優先度付きオンチップネットワーク向けルータアーキテクチャ 谷口将一 他
- Slot Multiplexing Optimization for Minimizing the Operating Frequency of a FlexRay Bus under Hard Real-Time Constraints Makoto Sugihara 他
- 耐故障性の実現と通信帯域幅の最小化を両立する TDMA スケジューリング手法 岩永明人 他
- VLIW プロセッサのための電力制約を考慮した命令スケジューリング手法 今井正治 他
- 高精度用紙搬送シミュレータ TIMES の開発 藤島智子 他
- シンプルな計算機システムの開発に向けた挑戦 吉瀬謙二

【一般論文】

- 張力均一条件下におけるドビー織機の綜統枠数最小化 松浦 勇 他
- ユーザ PC の利用時間帯を考慮したマルウェア対策ユーザサポートシステムの性能評価* 川口信隆 他
- Scan-based Attack against DES and Triple DES Cryptosystems Using Scan Signatures Hirokazu Kodera 他
- 局面評価関数を使う新たな UCT 探索法の提案とオセロによる評価* 橋本 剛 他
- 形態素解析手法と通俗的単語群に基づく類音文変換システム 金久保正明
- 意味的極性と単語クラスを用いた Why 型質問応答の改善 呉 鍾勲 他
- 音声入力型情報検索におけるベイズリスク最小化音声認識のための単語重要度の自動推定 古谷 遼 他
- 商品とディスプレイの混在環境における商品選択支援方法* 横山正典 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (July 2013)

【Transactions on Bioinformatics Vol.6】

- NegFinder: A Web Service for Identifying Negation Signals and Their Scopes Kazuki Fujikawa 他
- SCPSSMpred: A General Sequence-based Method for Ligand-binding Prediction Chun Fang 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.5】

- Scale-Invariant Edge Detection Using Spectrum Theory Gou Koutaki 他
- Gait Recognition by Fusing Direct Cross-view Matching Scores for Criminal Investigation Daigo Muramatsu 他
- Sparse Isotropic Hashing Ikuro Sato 他
- Color Image Enhancement for Dichromats by Additive Image Noise Kakeru Wakimoto 他
- Fisher Vector based on Full-Covariance Gaussian Mixture Model Masayuki Tanaka 他
- Mixed-Motion Segmentation using Helmholtz Decomposition Cuicui Zhang 他
- Direct Ground Surface Reconstruction from Stereo Images Shigeki Sugimoto 他
- 3D Shape from Silhouettes in Water for Online Novel-View Synthesis Tomohiko Yano 他
- A Weighted Integral Method for Parametrically Describing Local Image Appearance Hidetoshi Goto 他
- Learning Spatiotemporal Gaps between Where We Look and What We Focus on Ryo Yonetani 他
- A Feature Descriptor by Difference of Polynomials Bo Zheng 他
- A Discriminative Metric Learning Algorithm for Face

- Recognition Tsuyoshi Kato 他
- A Biclustering Approach for Intraclass Identifiable Region Detection Min Lu 他
- Depth-Based Gait Feature Representation Hozuma Nakajima 他
- Breast MR Image Fusion by Deformable Implicit Polynomial Bo Zheng 他
- Refining Outdoor Photometric Stereo based on sky model Kenji Inose 他
- Improving Accuracy of Planar Tracking based on an Integrated Treatment of Unbalance between Image and Template Resolutions Tomohiro Ushiki 他
- Efficient Modeling of Object' s BRDF with Planned Sampling Asad Ali 他
- Full-dimensional Sampling and Analysis of BSSRDF Chika Inoshita 他
- Fast Distance Computation Between a Binary Code and Real Vector for Efficient Keypoint Matching Yuji Yamauchi 他
- Object Detection based on Spatio-Temporal Light Field Sensing Tatsushi Shimada 他

【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.3 No.3】

- TLIFES を利用した徘徊行動検出方式の提案と実装 大野雄基 他
- 低消費電力化のための実行タスクの動的なプロセッサリソース割り当て機構 榊原宏章 他
- HGW 向け ECHONET Lite ミドルウェアバンドルの設計と実装 寺岡秀敏 他
- 既存資産の拡張開発に適したドライバ層エミュレーションによ

る実機レス開発方式	岡本周之	■聴覚障がい者とその家族のためのテレビ視聴時コミュニケーション支援システムの提案	平尾美佐 他
■ホームゲートウェイ向け機器管理制御フレームワークの開発	宮田克也 他	■車載Cプログラムの割込み競合の静的検出手法	稲森 豊 他
■ワイヤレス M2M 向けルータシステムの開発	本田和明 他	■Web アクセスログに基づくユーザの革新性推定手法の提案	市川裕介 他
■パーストアクセスを考慮した画像信号処理 LSI 向けメモリバンド幅圧縮技術	小味弘典 他		



論文なんて関係ないと思っている方も デジタルプラクティスに論文を書いてみませんか？



「デジタルプラクティス」は、本学会が発行している JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションに次ぐ第 4 の論文誌です。現在、皆様からの論文募集中ですので、以下の案内をご覧ください。奮ってご投稿ください。

▶ http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/shippitsu_annai.html

JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、**デジタルプラクティスは現場の知恵, 創意工夫, 教訓など実践的な知見をターゲット**にしています。現場にいる他の IT 技術者にとって役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思っています。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ること、使ってもらえる機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の 1 つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT 技術者は組織に閉じこもるのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それが IT 技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。

実際にデジタルプラクティスへ投稿される時は、どうぞもっとリラックスしてください。論文を書き馴れていない著者の方々のために、2 ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。以下のような投稿準備フォームも用意しました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>

そして、各論文ごとに個別に編集担当者を割り当てて、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/shinsa-tebiki.html>

詳しくはデジタルプラクティスの Web ページをご覧ください。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）※3 社限定
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

Journal of Information Processing

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: edit@ipsj.or.jp

個人会員優待サービス

個人会員（正会員・名誉会員・終身会員・学生会員）の皆様にご利用いただける各種優待サービスをご案内いたします。
詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html>

■ホテル 【割引率 10～53%】

| JR ホテルグループ | グランビスタ ホテル&リゾート | ダイワロイヤルホテルズ | 東急ホテルズ | 阪急阪神第一ホテルグループ | ホテル法華クラブ | プリンسホテル | 都ホテルズ&リゾート | FUJIYAMA 倶楽部 | ウィークリーマンション東京 |

■レンタカー 【割引率 10～51%】

| ニッポンレンタカー | 日産レンタカー | マツダレンタカー |

■パック旅行 【割引率 2～5%】

| (株) 日本旅行 | 近畿日本ツーリスト (株) | トップツアー (株) | 京王観光 (株) |

■その他

| UC 丸善アカデミックカード | (株) パーシティウェブ | デスカット |

㊦㊦ 協力協定学会との正会員会費相互割引について ㊦㊦

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

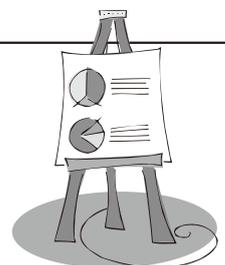
会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌およびWeb）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2013年8月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

- 巻頭コラム：ウェブ社会からファブ社会へ 10-1- []
- 特集：生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ
1. 生活を科学的にデザインする：生活構造データベースによる生活機能構成 10-2- []
2. 「生活機能構成学」への臨床医学からの示唆：その「三位一体」の取り組みから 10-3- []
3. 生活機能構成学確立のためのストラテジー 10-4- []
4. データに基づく生活機能構造の理解と分析 10-5- []
5. 日常生活理解のための正準化表現による生活データベースの構築と活用 10-6- []
6. 国際生活機能分類（ICF）を用いた生活支援ロボットの開発 10-7- []
7. 国際生活機能分類（ICF）を用いた社会参加支援 10-8- []
- 2012年度論文賞の受賞論文紹介 10-9- []
- 2012年度長尾真記念特別賞紹介 10-10- []
- 2012年度喜安記念業績賞紹介 10-11- []
- マイノリティのための情報処理 10-12- []
- べた語義：コラム：産業技術イノベーション人材育成のための技術経営教育 10-13- []
- べた語義：『キミのミライ発見』、『みらいぶ』 10-14- []
- べた語義：情報科における新課程の実施状況と授業内容 10-15- []
- IT好き放題：挑戦と感動 10-16- []
- 書評：スティーブ・ジョブズ I, II 10-17- []

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場： a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 生活をデザインする：生活機能構成学のアプローチ：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP委員会
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPJSJメールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

今回の特集は、「生活をデザインする」ための方法論や試みについての解説ということで、ICF（国際生活機能分類）の活用を中心とした企画をいたしました。普段から実践していて誰にとっても身近であるはずの「生活のデザイン」を、科学的・工学的に扱う取り組みは意外にもまだ整備されておらず、これから発展する余地が大きい分野です。それをWHO（世界保健機関）が承認したICFを共通言語として活用し解決しようというのは、奇異なアプローチに思われる方も多いかもかもしれません。本特集で医師2名に記事を書いていただいたのも、異例のことかと思えます。実は、私も大学で10年余り漠然と「役に立つロボットを作りたい」と思いながら研究をしてきましたが、ICFというものは見たことも聞いたこともありませんでした。4年半ほど前に産総研に異動してから、リハビリテーションの専

門家である大川先生、上田先生と出会い、ICFについて教えていただいたときに、大きな可能性を感じて研究を始めました。まだまだこれからも発展させなければならない研究分野ですが、皆様の「役に立つ」科学・工学技術の研究開発のご参考になればと思います。ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

最後に、ゲストエディタを仰せつかっておきながら原稿の締切を守れず、編集委員の皆様、および学会事務局の皆様には、大変ご迷惑をおかけしてしまいました。自分自身の生活をもう少し上手にデザインできるようになればと反省しております。「生活をデザインする」ことに関する本特集のエディタという貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

(松本吉央／本特集ゲストエディタ)

次号（9月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ソフトウェア工学の共通問題

ソフトウェア工学の共通問題とは／共通問題の現状／酒屋問題再考—新たな共通問題の作成を目指して—／組込みソフトウェア分野の共通例題の考え方／コンテキストウェアアプリケーション—ポスト PC 時代の共通問題—／ソフトウェア開発教育における共通問題

「ミニ特集」現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋～第2回将棋電王戦速報～

コンピュータと心を持つ人間の違いを実感—第2回電王戦全5局を観戦して—／多数の計算機を活用したゲーム木探索技術の進歩—三浦弘之八段とGPS将棋との対局を振り返って—／プロ棋士から見た電王戦／第23回世界コンピュータ将棋選手権速報／選手権優勝自戦記／コンピュータ将棋の今後

解 説：プライバシー保護データパブリッシング……………南 和宏

トピックス：研究会推薦博士論文速報

学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応—2012年度のISO/IEC JTC1 および情報規格調査会の活動—

教育コーナー：べた語義

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題



詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!


 申込／照会先 一般社団法人 情報処理学会
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」54巻8号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース 表2対向 日立製作所 表4
 とめ研究所 前付最終上 フォーラムエイト 目次前
 日本マイクロソフト 表2

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

NTT Data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)